



TBGニュース

一般社団法人

日本ターゲット・バードゴルフ協会

第21号

2020年8月30日

広報委員会

ご挨拶

会長 山岸 銀七

全国TBG愛好者の皆様、本年6月の書面による定時総会にて会長に再選されました山岸銀七です。

この2年間、(一社)日本TBG協会の活動が、少しずつ軌道に乗りTBGの普及振興に一定の前進が見られたのは誠に喜ばしいことで、全国各地域TBG協会関係者の皆様に深く感謝申し上げる次第です。

本年は新型コロナウイルスの騒ぎにより、TBG協会関係の活動は中止または延期のやむなきに至り、この状況にどう対応すべきか、各地域協会の皆様におかれましても頭を痛めておられることと拝察致します。

各スポーツ団体の関係者が同様に頭を痛め対応策を検討又は試行中ですが、TBGはその特色を活かして「三密を避け活動再開を検討する」時期に差し掛かっているのではないかと考えます。

夫々の地域の事情に応じた活動の再開を検討頂ければ幸いです。(本ニュース3・4頁も参照下さい。)

TBG愛好者の健康を守り、明るく楽しいスポーツTBGの灯を守る為にも【コロナ禍を正しく恐れ、TBG活動を続ける】を合言葉に、気概を持って活動を続けて頂きますよう、お願い申し上げます。

定期総会報告

—新役員体制が発足—

(一社)日本TBG協会第6期定期総会は、新型コロナウイルスの影響により書面による審議とし、書面審議の結果、以下の全議案が賛成多数により議決されました。【議案資料は当協会ホームページに掲載】

第1号・第2号議案 第6期(令和元年度)事業報告及び決算(付 監査報告)承認の件

第3号・第4号議案 第7期(令和2年度)事業計画及び予算承認の件

第5号議案 定款変更承認の件 【理事定数を「15名以上18名以内」から「9名以上18名以内」に変更】

第6号議案 第7～8期(令和2年・3年度)役員(理事、監事)選任の件 (*印は新任)

理事: *山谷清文(青森県)、*井上 静(茨城県)、伊藤英彦(東京都)、*黒目篤男(東京都)、
*齋藤健二(東京都)、*原島 稔(東京都)、山北 徹(東京都)、*山田繁男(東京都)、
山岸銀七(富山県)、奥島與志次(滋賀県)、境 利弘(佐賀県)、増崎迪克(長崎県)、
*田中幸造(鹿児島県)

監事: *西村淳一(東京都)、*芹沢悦司(東京都)

【註】①任期: 令和2年(2020年)定時総会(予定日: 令和2年6月1日)から令和4年(2022年)定時総会まで

②退任役員 理事: 川崎文夫、鈴木康夫、岡崎一夫、濱野健一、笹野 隆、大和田明徳、相馬鋳一、
平山文男、池上良雄

監事: 長谷川元治、石原秋治

理事会報告 —定期総会選出理事により、会長・副会長・理事長の留任が決定—

【令和元年度第3回理事会】令和2年2月3日東京品川日立金属和彊館にて開催

議決内容 ①令和元年度事業報告 ②令和2年度事業計画 ③令和2年度予算

④定款変更 理事定数を「9名以上18名以内」に変更する。

⑤新ボール問題 収拾策を講じ、定期総会までに結着を図る。

【令和2年度第1回理事会】6月1日定期総会と同日開催予定を、書面審議により開催

議決内容 ①令和元年度決算

②基金取り崩し 新ボール問題結着に際し、20万円を一般会計に移す。

③第7～8期(令和2年・3年度)の役員(理事・監事)選任

【令和2年度第2回理事会】定期総会にて選任された第7～8期理事による「会長・副会長・理事長互選」のため、書面審議により開催

議決内容 互選により、会長 山岸 銀七・副会長 増崎 迪克・理事長 山北 徹を選出。

さらに夢のあるTBGへ

—退任理事からのメッセージ—

本年6月定時総会において、これまでにない大規模な理事の交代がありました。

体育施設出版社長川崎理事には、旧日本協会発足時から学識経験理事として20周年記念誌の発行支援・財政基盤強化への提案など、時には混乱した理事会を叱咤激励、30年の長きに亘って客観的な立場から当協会を支えて頂きました。

また、混乱の中で旧日本協会から（一社）日本協会への展開を果たし、今日の協会再生に尽力して頂いた鈴木・岡崎・大和田各理事には、旧協会の多額債務処理、TBG名称の権利保護など一連の問題に決着をつけて頂きました。

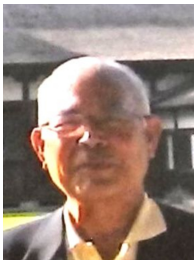
「さらに夢のあるTBGへ」として、4人の退任理事にメッセージを頂きました。

川崎 文夫



日本TBG協会は、1988年（昭和63年）6月に設立され、今年、32年の歴史を刻みました。その間、全国44都府県350市区町村の地域協会及び7万人を超える愛好者とともに拡大を続け、2014年（平成26年）に発展的解散をし、一般社団法人として、新しく生まれ変わりました。これまで、組織が元気で来られた陰には、発案者の野島様、育ての親である日本レクリエーション協会様、各代の会長、役員各位の努力並びに援助、献身があったればこそと感謝する次第です。この先、組織が健ていく必須条件は財政基盤の確立だと考えます。そして、王道を行くことが基本だと考えます。

鈴木 康夫



バードゴルフに関わって23年目、この間公私共に大変お世話になった方や尊敬する人も全国に多く、人生の支え、財産とも思っている。歴代会長に仕え、その薫陶に接したのは貴重なものである。

2代目の北原会長とは同じ会社で縁が深く、定年後バードゴルフに誘われ、亡くなるまで続いた。一度もプレイ姿を見なかったが、あそこまで打ち込めたのはなぜか、ついぞ直に聞いたことはない。バードゴルフを今日の隆盛まで育てた先覚者的存在であることは確かと思っている。

この流れは綿々と引き継がれ当初からの岡崎・大和田に始まり、伊藤・山北理事へと続いている。皆かなりの高齢になっており、次世代の新しい風が必要で期待は大きい

TBGは魅力的なスポーツ これからも大いに広めましょう

岡崎 一夫



東京都TBG協会設立発起人会から30年、日本協会理事兼任22年、多くのTBG愛好者の皆さんと共にTBGの発展に立ち会ってきました。

2014年春旧日本協会分裂、東京都協会は『TBGの正統統括団体である（一社）日本TBG協会を支えていこう』という決議をしました。

今日に至る6年間は日本協会にとって極めて厳しい期間でしたが、「TBGを守ろう」と、日本協会と一緒に支えて下さった皆さんには、ただただ頭の下がる思いで一杯です。

長い間、ありがとうございました。

理事退任後、しばらく広報委員としてお手伝いを続けますのでよろしくお願ひします。

大和田 明德



私がターゲット・バードゴルフと出会ったのは、田無市の体育指導員になってニュースポーツの講習会に参加した時ですが、その後田無TBGクラブを立ち上げました。

平成5年7月に練習グラウンドを市より借りることが出来、会員も50名を超えました。関東大会、全国大会、全国スポレク大会などに参加し、各県の愛好者と知り合いになりました。

私が定年退職したときに、創始者の一人の北原副会長より日本協会を手伝ってほしいと頼まれたのが日本協会に関係する始まりでした。その後17年間お手伝いさせていただきました。

事務局長を退任するに当り、分裂状態にあるTBG協会が早く一つの団体になるよう希望します。

北から南から

茨城県TBG連合会 令和2年8月9日(日)開催「なつぞら教室」

茨城県TBG連合会では会員の親睦と初級者の技能向上を兼ねた「なつぞら教室」を毎年開催しています。今年是指導員18名、受講者15名が参加し夏空の下無事終了しました。今年指導員になった女性から年配の初心者が熱心にルールとマナーの指導を受けている光景や、ベテラン程ルールが曖昧になる傾向が有り、ルールを再認識するよい機会となりました。最後のホールインワンチャレンジでは、初心者が達成感に満ち溢れた笑顔を見せて、賞品を受け取った姿が印象的でした。これからの活躍に期待します。

茨城県TBG連合会 会長 井上 静

滋賀県TBG協会 近況

コロナ禍の影響で、近畿ブロックのTBG大会が、殆ど中止になりました。滋賀県に於いても、4～6月は、県外の移動が自粛要請の為、大会を少しコロナ感染症の影響が落ち着いた7月に開催しようかと熟慮の上7月5日(日) 梅雨の時期ではありましたが 大会に漕ぎ着けました。

参加者と、ターゲット・バードゴルフが出来る喜びを味わい、普段通りの生活がいかに 幸せか感じた1日でした。

滋賀県TBG協会 会長 奥島與志次



長崎県TBG協会 令和2年度活動予定

現在長崎県TBGは8地区8クラブです。長崎県下交流大会を7地区7回の交流大会を毎年開催しております。他に県ネンリンピック大会、県レクリエーション大会、県選手権大会(県すこやか長寿財団主催・支援)の実施で年間10回の大会を実施しております。又年度末には毎年公認指導者(ルール・実技)の研修会(40名程度)実施しております。県TBG協会も高齢化が進み会員がすこしづつ減っておりますので昨年からは長崎NBCラジオ日曜日の朝3回に分けてTBG紹介により普及活動をしております。今年も8/2,9,16(日)に放送されます。

上記交流大会は新型コロナウイルスの感染状況で流動的です、早期の終息を願っております。

長崎県TBG協会 会長 増崎 勉

鹿児島県TBG協会出水支部 コロナウイルスに負けず練習に頑張っています

世界中を取り巻くコロナウイルス、世界中の人が常に危機感を持ち、生活し、自由を奪われ、ストレスだらけの生活を強いられている現状です。昨年までは自由に外出し、楽しむべき事を大いに楽しんでいましたが危機感のあまり、外出も制限され楽しみだった趣味も出来ない現状 この一つにターゲット・バードゴルフも挙げられるでしょう。

我々はターゲット・バードゴルフを愛し、生活の盾として楽しんでまいりました。この楽しみをコロナウイルスに奪われたら我々高齢者には、別な病気を発症する事もあるでしょう。

種々の大会中止及び各支部の練習休止の中、出水支部はどうしたら昨年同様練習が出来るかを、いろいろな機関を通じ模索してまいりました。

結果、県、市の対策マニュアルを基に、守るべき重要事項を掲示板に書き出し、徹底して厳守する事になりました。

基本的には主に、3密の厳守で、人と人との間隔をあける。ミーティングは屋外で実施する等、行政よりのマニュアルを基に、以前と変わらず練習に励んでいます。

幸い練習場までの、行き帰りも全員自家用車使用により相乗りもせず、密接は避けられている様です。

又各大会が中止の中、我々独白の大会を計画し、外部の人を入れず、出水支部会員のみでの大会を実施しています。

鹿児島県TBG協会出水支部 会長 田中幸造

造



ミーティングは室外で間隔を2m以上取って



ホール周りは2m以上の間隔

コロナ禍を正しく恐れ、TBG活動を続けましょう

【日本レクリエーション協会丸山副理事長を迎えて】

新型コロナウイルス感染症拡大の中、TBGの活動も自粛が続いて先が見通せなくなっています。7月某日、日本レクリエーション協会副理事長の丸山正さんが当協会の激励に来て下さいました。各種スポーツ団体が軒並み活動の維持に苦慮しているが、「TBGは？」ということでした。丸山さんは、私たち広報委員と意見交換の後、下段の励ましのメッセージを寄稿して下さいました。

【コロナ禍を正しく恐れて行動しましょう】

新型コロナウイルスの影響について、未だに専門家の見解も揺れ動き、詳細は解明途上ですが、そろそろ「正しく恐れて行動する」段階に入ってきたと考えられます。「正しく恐れて行動する」ための知見は専門家の意見を聴き、具体的な行動は自分たちで見解をまとめ、実行に移すしかありません。

「感染防止策を実行し、免疫力の向上に努めつつ活動する」ことが求められていると考えられます。

TBG愛好者及びその団体が免疫力向上でできることは、【体を動かす、食べ物に気を付ける、適度な睡眠をとる、笑顔を絶やささない、TBGを楽しむ】など、いずれも実行に移せるものばかりです。

【ガイドラインで安心・安全を】

地域TBG協会でも【正しく恐れて行動する】を実行に移している協会の話を伺いました。

鹿児島県出水市では4月から、地域関係機関と協力しつつTBG活動を展開しています。

その考え方は、【基本的に三密回避を厳守】することで、その様子は3頁をご覧ください。

東京都TBG協会では7月、(公財)日本スポーツ協会などのガイドラインを参考にし、活動再開を加盟29団体に呼びかけました。参加者は、プレイ中も間隔(極力2m最低1m)をあけること、主催者は、感染防止必要事項をチェックリスト化し、イベント受付場所等に掲示すること等々。

この呼びかけで東京都の活動も、地域協会から逐次再開されることが期待されています。

このガイドラインの詳細は、必要があれば当協会にお問い合わせ下さい。

全国各地域協会の皆様には、【コロナ禍を正しく恐れ、TBG活動を続ける】を合言葉に、コロナ後を目指して活動を続けて頂きたいものです。
(岡崎 一夫)

ターゲット・バードゴルフは“健康”に効く 仲間と楽しみながら続けることが必要です

公益財団法人日本レクリエーション協会
副理事長 丸山 正

身長・体重だけでなく、筋肉脂肪や体脂肪の量などにも関係なく、老若男女だれでもが安心してフルショットできるTBGは、永く続けることで血液中の資質が良くなり、高齢になるとかかり易い動脈硬化や脳血管疾患や心疾患の予防になります。

(公財)長寿科学振興財団の調査結果によると、高齢者の死亡原因は1位悪性新生物(癌)、2位新疾患3位脳血管疾患となっており、TBGを続けることで、これらの疾病の改善が期待できます。

会議や競技に参加したり仲間とふれ合うことで、認知症予防にも役立ちます。年齢も性別も上手・下手も関係ありません、仲間と共にTBGを続けてください。

最近「脳科学」が著しく進歩して、TBGが「楽しかった」と感じると、脳内ホルモンのセレトニン、ドーパミン、それにオキシトシンの分泌を促し、健康になることも分かっています。

【一般社団法人日本TBG協会】

【日本協会ニュースに関する連絡先及び日本協会に加盟する組織の無い地域で会員として入会する場合の連絡先等としてご利用下さい。】

【編集後記】

- ◎日本だけでなく世界で広がっている新型コロナウイルス感染症。これまで出合ったことのない事態が次々と起きています。
- ◎イベントも大幅に中止となり、これからの見通しも定かではない状況下にあります。普段の練習もソーシャルディスタンスを意識した行動を取らざるを得なくなっています。
- ◎新型コロナウイルスの影響により20号の発刊が大幅に遅れての配布となりました。20号は「活動の記録」としてお取り扱い下さい。
- ◎21号より編集委員に変更があり、齋藤が編集長を担当することになりました。何分にも新参者であります。皆様のご指導、ご協力を臥してお願い申し上げます。
(齋藤 健二)

【広報委員会】

委員長 齋藤 健二
委員 山北 徹
山田 繁男
岡崎 一夫

〒180-0023東京都武蔵野市境南町3-11-11-101
TEL:0422-30-5290 FAX:0422-30-5291
<http://japantbg.web.fc2.com/>
e-mail:qqrh7pp9k@solid.ocn.ne.jp